

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

評価対象建築物の名称	
評価対象建築物の所在地	
設計者等の氏名	
評価者氏名	

【住棟】

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄	
				項目	設計内容	記載図書		
1 構造の安定※	1-1	等級	構造躯体及び基礎等	地震力及び風圧力	☐ 壁量計算による(階数が2以下の木造の建築物における基準) ⇒評価方法基準 第51-1(3)ホ又はへ①b)による場合 ☐ 令和7年4月1日以降の基準に適合 ☐ 令和7年3月31日以前の基準に適合	☐ 伏図 ☐ 計算書		
	耐震等級(倒壊等防止)	☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 評価対象外		☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	☐ 壁量計算+たて桟上下端の接合部の確認(桟組壁工法) ☐ 許容応力度計算による(ルート1) ☐ その他 ()	☐ 計算書		
	1-2	等級		基礎	☐ 建築基準法の規定による ☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表 () ☐ その他 ()			
	耐震等級(損傷防止)	☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 評価対象外 ☐ 選択しない			横架材	☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表 () ☐ その他 ()		
	1-3	免震		免震建築物	☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 ☐ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成			
	その他	☐ 免震 ☐ その他			認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		
	1-4	等級		地盤(1-6)	地盤又は杭の許容支持力等	☐ 許容支持力等 ☐ 地盤 [kN/m ²] ☐ 杭 [kN/本]		☐ 調査書
	耐風等級	☐ 2 ☐ 1 ☐ 選択しない			及びその設定方法	☐ 地盤調査方法等 () ☐ 地盤改良有方法 () ※ 杭状改良 ☐ 許容支持力度 [kN/m ²] ☐ 地盤 ☐ 許容支持力 [kN/本]		☐ 調査書
	1-5	等級		基礎(1-7)	基礎の構造方法及び形式等	☐ 直接基礎 ☐ 基礎の構造方法 () ☐ 基礎の形式 () ☐ 杭基礎 杭種 () 杭径 [cm] 杭長 [m]		☐ 伏図
	耐積雪等級	☐ 2 ☐ 1 ☐ 該当区域外 ☐ 選択しない						
2 火災に関する安全性※	2-5耐火等級(延焼の恐れのある部分・開口部)	等級	開口部の耐火性能(耐火性能が最も低いもの)	防火設備の仕様等	☐ 外壁の開口部の耐火性能 耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他)	☐ 仕上表 ☐ 建具表		
	2-6耐火等級(延焼の恐れのある部分・開口部以外)	等級	外壁・軒裏の構造(耐火性能が最も低いもの)	外壁の構造等	☐ 外壁の耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 45分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他)	☐ 仕上表 ☐ 建具表		
	開口部以外)	☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 該当なし ☐ 選択しない	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	軒裏の構造等	☐ 軒裏の耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 45分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他)	☐ 仕上表 ☐ 建具表		
	開口部以外)							

※:1-2、1-4、1-5、2-5、2-6の事項については、選択項目となる。

2025.04.01

【住棟】

事 項	性 能 表 示	自己 評価 結果	評価方法	確 認 項 目	設計内容説明欄		設計 内容 確認欄
					項 目	設計内容	
3 劣 化 の 軽 減	3-1 劣 化 対 策 等 (構造躯体等)	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	外 壁 の 軸 組 等	外壁の構造等 (地面から1m)	☐ 外壁通気構造等 ☐ 製材、集成材等又は構造用合板等＋薬剤処理(現場処理) ☐ 製材、集成材等＋小径13.5cm ☐ 製材、集成材等＋耐久性区分D1＋小径12.0cm以上 ☐ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ☐ K3以上の薬剤処理(工場処理) ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ 伏図等
				土 台	防 腐 ・ 防 蟻 処 理	☐ 土台に接する外壁下端水切り ☐ K3以上の薬剤処理(工場処理) ☐ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ 伏図等
				浴室・脱衣 室の防水	防水上の措置	☐ 浴室 ☐ 防水上有効な仕上げ ☐ 浴室ユニット ☐ 外壁軸組等の防腐措置等 方法: () ☐ 脱衣室 ☐ 防水上有効な仕上げ ☐ 外壁軸組等の防腐措置等 方法: ()	☐ 仕上表 ☐ 平面図
				地 盤	防 蟻 措 置	・ 防蟻措置 (☐ 有 ☐ 対象区域外) ☐ べた基礎等 ☐ 土壌処理 ☐ その他 方法: ()	☐ 矩計図
				基礎高さ	基礎高さ	☐ 地面から土台下端までの高さが400mm以上	
				床下防湿 措 置 等	床下地盤面の 防 湿 措 置	☐ 防湿方法 [☐ コンクリート ☐ 防湿フィルム ☐ その他 ()]	☐ 矩計図 ☐ 伏図等
					床下換気措置	☐ 換気措置 [☐ 換気口 ☐ ねこ土台 ☐ その他] ☐ 基礎断熱工法	
				小 屋 裏 換 気 の 措 置	小屋裏換気	・ 小屋裏の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 小屋裏換気設置の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 立面図
				構造部材等		☐ 建築基準法施行令第37条、第41条、第49条及び 第80条の2の規定に適合	☐ 仕上表 ☐ 伏図等
				認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)	

【住棟】

項目	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
					項目	設計内容	記載図書	
4 維持管理・更新への配慮	4-2 維持管理対策等級 (共用配管) ☐ 該当なし	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	共用配管	コンクリート内埋込み配管	☐ すべての評価対象配管がコンクリート内に埋込まれていない	☐ 仕様書	
				地中埋設管	埋設管上のコンクリート打設	・地中埋設管上のコンクリート打設 (☐ 無 ☐ 土間コンその他のみ有 ☐ 対象区域外)	☐ 仕様書	
				共用排水管	排水管の清掃措置、掃除口の点検措置	・共用立管 ・掃除口の有無 ☐ 有 ☐ 無(15m以内等であること) ・掃除口の位置 ☐ 開口 ☐ 露出 ・横主管 ・掃除口の有無 ☐ 有 ☐ 無(10m以内等であること) ・掃除口の位置 ☐ 開口 ☐ 露出	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図	
				排水管等の性状等(継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面	☐ 平滑である ☐ その他 ()	☐ 仕様書	
					設置状態	☐ たわみ抜け等が生じないように設置 ☐ その他 ()		
				配管点検口	排水管と専用排水管の接合部	・接合部の位置 () ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口	☐ 平面図 ☐ 設備図	
					給水管と専用排水管の接合部	・接合部の位置 () ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口 ・バルブの位置 () ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口		
					給湯管と専用排水管の接合部	・接合部の位置 () ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口 ・バルブの位置 () ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口		
					横主管のビット内等の措置	排水管 ☐ 建物直下になし ☐ ビット内又は床下設置 ☐ 人通孔設置 ☐ その他 ☐ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている	☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図	
				配管補修の措置	給水管	☐ 建物直下になし ☐ ビット内又は床下設置 ☐ 人通孔設置 ☐ その他		
					給湯管	☐ 建物直下になし ☐ ビット内又は床下設置 ☐ 人通孔設置 ☐ その他		
					配管補修の措置	排水管 ☐ 露出 ☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー ☐ PS内 ☐ 共用部に面して補修用開口あり	☐ 平面図 ☐ 設備図	
				認定書等	給水管	☐ 露出 ☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー ☐ PS内 ☐ 共用部に面して補修用開口あり		
					給湯管	☐ 露出 ☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー ☐ PS内 ☐ 共用部に面して補修用開口あり		
					認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		

(第四面)

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
4 維持管理・更新への配慮	4-3 更新対策 (共用排水管) ☐ 該当なし	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	共用排水管	埋め込み	☐ 共用排水管がコンクリート内に埋込まれていない	☐ 仕様書	
				地中埋設管	☐ 地中埋設管上のコンクリート打設等されていないこと	☐ 平面図	
				横主管	☐ ビット等の共用排水管は人が到達できること	☐ 設備図	
				位置	☐ 専用部分に立ち入らないで更新できる位置であること	☐	
				コンクリート床等の貫通部	☐ 共用排水管の切断工事を軽減する措置 ☐ 立管分割可能 ☐ その他 ()	☐	
				☐ 適用	☐ 共用排水管のコンクリート床等の貫通部 ☐ 有 ☐ 無 ☐ はつり工事を軽減する措置 ☐ 無 ☐ ロックウール充填 ☐ その他 ()	☐	
					☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置あり ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間が確保されている	☐	
				新たな共用排水管の設置の余地	☐ 共用排水管の近傍に新たな共用排水管の設置スペース等 ☐ 排水管を新設する空間 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 排水管を新設のためのスリーブ ☐ 有 ☐ 無 ☐ 専用排水管、横主管の接続替えができる空間、スリーブ ☐ 有 ☐ 無 ☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置あり ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間が確保されている	☐	
				☐ 適用			
				共用排水立管の設置位置	☐ 共用廊下に面する共用廊下 ☐ 外壁面、吹き抜け等の住戸外周部 ☐ バルコニー ☐ 住戸専用部 ☐ その他	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐ ☐	
認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)					

[illegible]

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄		設計内容確認欄
				項目	設計内容	
4 維持管理・更新への配慮 4-1 維持管理対策等級 (専用配管)	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	専用配管	コンクリート内埋込み配管	☐ すべての評価対象配管がコンクリート内に埋込まれていない ☐ 平面図	
			地中埋設管上のコンクリート打設	・ 地中埋設管上のコンクリート打設 (☐ 無 ☐ 土間コンその他のみ有 ☐ 対象区域外)	☐ 配置図	
			排水管の内面の仕様	☐ 排水管内面が平滑である	☐ 仕上表	
			排水管の設置状態	☐ たわみ、抜け等が生じないよう設置	☐ 平面図	
			専用排水管の清掃措置	☐ 便所、その他水廻りに必要な清掃措置の確保	☐ 平面図	
			配管主要接合部等の点検措置	☐ 主要接合部等の点検措置等の確保	☐ 平面図	
			点検口	☐ 点検措置	☐ 平面図	
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること 5-1 断熱性能等	等級 ☐ 7 ☐ 6 ☐ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	地域の区分	地域の区分 (☐) 地域		
			適用する基準	☐ 性能基準 ☐ 住宅仕様基準(等級4) ☐ 誘導仕様基準(等級5)	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 建具表 ☐ 計算書	
			非住宅・住宅計算方法	外皮平均熱貫流率 (☐) (W/(m ² ・K) ☐ U _A 値の値を評価書に記載する ※1		
			冷房期の平均日射熱取得率	☐ 冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC} (☐) ☐ η_{AC} 値の値を評価書に記載する ※2		
			☐ 住宅仕様基準 ☐ 誘導仕様基準	外皮の熱貫流率の基準又は断熱材の熱抵抗値の基準 ☐ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合		
			☐ チェックリスト※4による	開口部の断熱性能等 ☐ 開口部の断熱性能等の基準に適合 ☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)		
			認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		
			結露防止対策	結露の発生防止対策 ☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等を使用する場合) ☐ 設置 (☐) ☐ 省略 (☐) ☐ 通気層の設置(外壁・屋根を断熱構造とする場合) ☐ 屋根 [☐ 有 (☐) ☐ 省略 (☐)] ・防風層の設置 ☐ 外壁 [☐ 有 (☐) ☐ 省略 (☐)] ・防風層の設置		
			認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		
			適用する基準	☐ 非住宅・住宅計算法 ☐ 住宅仕様基準(等級4) ☐ 誘導仕様基準(等級6)	☐ 仕上表 ☐ 計算書 ☐ 面積表 ☐ 平面図 ☐ 機器表 ☐ 系統図 ☐ カタログ	
			非住宅・住宅計算方法	外皮性能値 ・ 外皮平均熱貫流率(U _A 値) ☐ 一次エネルギー消費量 ・ 冷房期の平均日射熱取得率(η_{AC} 値) 計算結果による ・ 暖房期の平均日射熱取得率(η_{AH} 値)		
			居室等の面積	・ 合計の床面積 ☐ 一次エネルギー消費量 ・ 主たる居室 計算結果による ・ その他の居室		
		一次エネルギー消費量	・ 基準一次エネルギー消費量 ☐ 一次エネルギー消費量 ・ 設計一次エネルギー消費量 計算結果による			
		設備機器等の仕様	☐ 一次エネルギー消費量計算結果による			
		☐ 住宅仕様基準	暖房設備 ☐ 暖房方式・暖房機器等の仕様等は設計図書による			
		☐ 誘導仕様基準	冷房設備 ☐ 冷房方式・冷房機器等の仕様等は設計図書による			
		☐ チェックリスト※4による	換気設備 ☐ 換気機器の仕様等は設計図書による			
			照明設備 ☐ 照明設備の仕様等は設計図書による			
			給湯設備 ☐ 給湯熱源機器の種類等は設計図書による また、誘導仕様基準の場合、所定の省エネ対策を実施する			

※1:等級7の場合のみ明示することができる。(地域区分の8地域を除く。)

※2:等級7の場合のみ明示することができる。(地域区分の1、2、3及び4地域を除く。)

※3:等級6の場合のみ明示することができる。※4:建築物省エネ法 木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック内の「省エネ基準又は誘導基準 適否チェックリスト」

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	
-------------------	--

性能表示事項	自己評価結果	評価方法※1	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
2 火災時の安全	2-1	等級 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	感知警報装置	感知部分の設置場所等	・基準に適合した感知部分の設置場所 ☐ 寝室 ☐ 居室 ☐ 台所等 ☐ 階段等 ・警報を行う部分 (☐ 1mで70dB以上の警報音を1分継続可能 ☐ その他同等) (☐ 居室を有する各階設置 ☐ 階数が1) (☐ 150㎡毎設置 ☐ 350㎡毎設置 ☐ その他) (☐ ネットワーク化されている)	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	
	2-2	等級 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	感知警報装置	感知警報装置の種類等	感知器 ・種類 ☐ 共同住宅用自火報又は同等品 ☐ 住戸用自火報又は同等品 ☐ その他 ・設置場所 ☐ 当該階 ☐ 直下の階 ・接続等 ☐ 各戸に有効に接続 ☐ 戸外表示器有 ☐ その他 警報器 ・種類 ☐ 非常警報設備又は同等品 ☐ その他 ・設置場所 ☐ 当該階 ☐ 直下の階 ☐ その他 ・接続等 ☐ 各々が有効に接続	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	
	2-3	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	排煙形式	排煙形式	☐ 開放廊下 ☐ 自然排煙 ☐ 機械排煙(一般) ☐ 機械排煙(加圧式) ☐ その他 平面形状 ☐ 通常の歩行経路による2以上の方向への避難が可能 ☐ 直通階段との間に他住戸がない ☐ その他 耐火等級 ☐ 60分以上(等級3) ☐ 20分以上 ☐ その他	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	
	2-4	設計内容 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	脱出対策	バルコニー及び避難器具	☐ 直通階段に直接通ずるバルコニー ☐ 隣戸に通ずるバルコニー ☐ 避難器具 (☐ 避難ロープ ☐ 避難はしご ☐ 避難用タラップ ☐ 避難橋 ☐ 滑り棒 ☐ 滑り台 ☐ 緩降機 ☐ 救助袋) ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	
	2-7	等級 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	界壁及び界床の構造	界壁の構造等(耐火性能の最も低いもの)	・界壁の耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 45分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他) 界床の構造等(耐火性能の最も低いもの) ・界床の耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 45分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他)	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	
4 維持管理・更新への配慮	4-4	設計内容 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	構造躯体	躯体天井高	・躯体天井高 () mm以上 ☐ 異なる躯体天井高が存する最も低い部分の躯体天井高 () mm以上 最も低い部分 ☐ はり ☐ 傾斜屋根 ☐ その他 () 住戸専用部の構造躯体の壁又は柱 ・住戸専用部の構造躯体で間取り変更の障害となりうるもの ☐ 有 (☐ 壁 ☐ 柱) ☐ 無	☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	

※2-1、2-2、2-3、2-4、2-7、4-4は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄		設計内容確認欄	
				項目	設計内容		
6 空気環境	6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏等) ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室の内装仕上げ材 天井裏等の下地材等	使用建材 ホルムアルデヒド発散等級 ☐ 該当なし	☒ 製材等 ☐ 特定建材 ☐ その他の建材 ・ 特定建材のうち最もホルムアルデヒド発散が大きい建材 ☐ F☆☆☆☆ (等級3) ☐ F☆☆☆ (等級2) ☐ F☆☆ (等級1) ・ 換気又は気密措置による ☐ 使用建材による ☐ 製材等 ☐ 特定建材 ☐ その他の建材 ・ 特定建材のうち最もホルムアルデヒド発散が大きい建材 ☐ F☆☆☆☆ (等級3) ☐ F☆☆☆ (等級2)	☐ 仕上表 ☐ 建材表 ☐	
	6-2 換気対策 ☐ 選択しない	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	換気対策種類	☐ 機械換気設備 ☐ その他	☐ 平面図 ☐		
7 光・視環境	7-1 単純開口率 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室床面積に対する開口部の割合	・ 単純開口率 (%以上)		☐ 平面図 ☐ 建具表 ☐	
	7-2 方位別開口比 ☐ 選択しない		方位別開口部の面積合計の比	北面(% 以上) 東面(% 以上) 南面(% 以上) 西面(% 以上) 真上(% 以上)			

※6-1、6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄		設計内容確認欄	
				項目	設計内容		
6 空気環境	6-2 換気対策 ☐ 選択しない	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	換気対策種類	☐ 機械換気設備 ☐ その他	☐ 平面図 ☐		
		局所換気対策	・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 平面図 ☐			
7 光・視環境	7-1 単純開口率 ☐ 選択しない	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室床面積に対する開口部の割合	・ 単純開口率 (%以上)		☐ 平面図 ☐ 建具表 ☐	
	7-2 方位別開口比 ☐ 選択しない		方位別開口部の面積合計の比	北面(% 以上) 東面(% 以上) 南面(% 以上) 西面(% 以上) 真上(% 以上)			

※6-1、6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	
-------------------	--

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
6 空気環境	6-2 換気対策 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	換気対策	種類	・ ☐ 機械換気設備 ☐ その他	☐ 平面図 ☐	
				局所換気	便所 ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 平面図 ☐	
				浴室	・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐	
				台所	・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐	
7 光・視環境	7-1 単純開口率 ☐ 選択しない 7-2 方位別開口比 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室床面積に対する開口部の割合		・ 単純開口率 (%以上)	☐ 平面図 ☐ 建具表 ☐	
				方位別開口部の面積合計の比	北面(% 以上) 東面(% 以上) 南面(% 以上) 西面(% 以上) 真上(% 以上)		

※6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	
-------------------	--

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
6 空気環境	6-2 換気対策 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	換気対策	種類	・ ☐ 機械換気設備 ☐ その他	☐ 平面図 ☐	
				局所換気	便所 ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 平面図 ☐	
				浴室	・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐	
				台所	・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐	
7 光・視環境	7-1 単純開口率 ☐ 選択しない 7-2 方位別開口比 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室床面積に対する開口部の割合		・ 単純開口率 (%以上)	☐ 平面図 ☐ 建具表 ☐	
				方位別開口部の面積合計の比	北面(% 以上) 東面(% 以上) 南面(% 以上) 西面(% 以上) 真上(% 以上)		

※6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	
-------------------	--

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
6 空気環境	6-2 換気対策 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	換気対策	種類	・ ☐ 機械換気設備 ☐ その他	☐ 平面図 ☐	
				局所換気	便所 ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 平面図 ☐	
				浴室	・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐	
				台所	・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐	
7 光・視環境	7-1 単純開口率 ☐ 選択しない 7-2 方位別開口比 ☐ 選択しない	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室床面積に対する開口部の割合		・ 単純開口率 (%以上)	☐ 平面図 ☐ 建具表 ☐	
				方位別開口部の面積合計の比	北面(% 以上) 東面(% 以上) 南面(% 以上) 西面(% 以上) 真上(% 以上)		

※6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ

性能表示事項	自己評価結果	評価方法※1	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄			
				項目	設計内容	記載図書				
8音環境	8-1 重量床衝撃音対策 ☐ 対策等級 ☒ 相当スラブ厚 (cm)	最高 ☐ 27 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 11 ☐ 他	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	☐ なし	床構造等 (最高)	・ スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様 (相当スラブ厚、11cm) ☐ その他の床構造 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 詳細図			
					床仕上げ構造 (最高)	・ 床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材 ()				
					床構造等 (最低)	・ スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様 (相当スラブ厚、11cm) ☐ その他の床構造 ()				
					床仕上げ構造 (最低)	・ 床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材 ()				
			認定書等	認定書等活用 ☐ 認定書等の活用 (第四面に記入)						
		最高 ☐ 27 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 11 ☐ 他	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	☐ なし	床構造等 (最高)	・ スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様 (相当スラブ厚、11cm) ☐ その他の床構造 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 詳細図			
					床仕上げ構造 (最高)	・ 床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材 ()				
					床構造等 (最低)	・ スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様 (相当スラブ厚、11cm) ☐ その他の床構造 ()				
					床仕上げ構造 (最低)	・ 床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材 ()				
			認定書等	認定書等活用 ☐ 認定書等の活用 (第九面に記入)						
		8-2 軽量床衝撃音対策 ☐ 対策等級 ☒ 低減量 (dB)	最高 ☐ 30 ☐ 25 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 他	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	☐ なし	床構造等 (最高)	・ スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様 (相当スラブ厚、11cm) ☐ その他の床構造 ()		☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 詳細図	
						床仕上げ構造 (最高)	・ 床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材 ()			
床構造等 (最低)	・ スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様 (相当スラブ厚、11cm) ☐ その他の床構造 ()									
床仕上げ構造 (最低)	・ 床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材 ()									
	認定書等		認定書等活用 ☐ 認定書等の活用 (第四面に記入)							
最高 ☐ 30 ☐ 25 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 他	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証		☐ なし	床構造等 (最高)	・ スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様 (相当スラブ厚、11cm) ☐ その他の床構造 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 詳細図				
				床仕上げ構造 (最高)	・ 床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材 ()					
				床構造等 (最低)	・ スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様 (相当スラブ厚、11cm) ☐ その他の床構造 ()					
				床仕上げ構造 (最低)	・ 床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材 ()					
	認定書等		認定書等活用 ☐ 認定書等の活用 (第四面に記入)							

※8-1、8-2は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄	
				項目	設計内容	記載図書		
8音環境	8-3	等級	界壁の遮音性能	界壁の構造・仕様 (最も性能の低いもの)	☐ 木造下地+石膏ボード12.5mm二重張り(両面) +グラスウール25mm以上 ☐ 木造下地+石膏ボード12.5mm二重張り(両面) +ロックウール25mm以上 ☐ その他 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 詳細図		
	透過損失等級 (界壁)	☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1		☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	付帯条件	☐ 建築基準法第30条の規定に適合		
	☐ 該当なし				認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		
8音環境	8-4 透過損失等級 (外壁開口部)	北面	開口部の遮音性能	北の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB	☐ 仕上表 ☐ 建具表		
				東の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB			
				南の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB			
				西の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB			
				東面	☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証		
				南面	☐ 3 ☐ 2 ☐ 1			
				西面	☐ 3 ☐ 2 ☐ 1			
				該当無し(北)	☐ 3			
				該当無し(東)	☐ 2			
				該当無し(南)	☐ 2			
				該当無し(西)	☐ 1			

※8-3、8-4は選択項目となる。

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄	
				項目	設計内容	記載図書		
8音環境	8-3	等級	界壁の遮音性能	界壁の構造・仕様 (最も性能の低いもの)	☐ 木造下地+石膏ボード12.5mm二重張り(両面) +グラスウール25mm以上 ☐ 木造下地+石膏ボード12.5mm二重張り(両面) +ロックウール25mm以上 ☐ その他 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 詳細図		
	透過損失等級 (界壁)	☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1		☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	付帯条件	☐ 建築基準法第30条の規定に適合		
	☐ 該当なし				認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		
8音環境	8-4 透過損失等級 (外壁開口部)	北面	開口部の遮音性能	北の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB	☐ 仕上表 ☐ 建具表		
				東の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB			
				南の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB			
				西の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB			
				東面	☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証		
				南面	☐ 3 ☐ 2 ☐ 1			
				西面	☐ 3 ☐ 2 ☐ 1			
				該当無し(北)	☐ 3			
				該当無し(東)	☐ 2			
				該当無し(南)	☐ 2			
				該当無し(西)	☐ 1			

※8-3、8-4は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄		設計内容確認欄	
				項目	設計内容		
9 高齢者等への配慮 9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分) ☐ 選択しない	等級	☐ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	部 屋 の 配 置 等	特 定 寝 室 の 位 置 ・ 特定寝室 (階、室名:) ・ 基準に適合したホームエレベーター (☐ 有 ☐ 無) ☐ 特定寝室と同一階に配置すべき室等の基準に適合	☐ 平面図 ☐	
	段 差	日 常 生 活 空 間 内	☐ 日常生活空間内の床が段差のない構造 ・ 適用除外の段差 ☐ 玄関出入口 ☐ 玄関上りかまち ☐ 浴室出入口 ☐ その他の段差 ()	☐ 平面図 ☐			
	日 常 生 活 空 間 外	☐ 日常生活空間外の床が段差のない構造					
	階 段	勾配等	☐ 階段の勾配等の基準に適合	☐ 平面図 ☐			
	☐ 階段無	蹴込み	☐ 蹴込みが30mm以下 ・ 蹴込み板の設置 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 平面図 ☐			
		形式等	・ 回り階段等の設置 (☐ 有 ☐ 無) ・ 通路等への食い込み、突出 (☐ 有 ☐ 無) ・ 最下段の通路等への突出 (☐ 有 ☐ 無)				
		滑り防止	・ 滑り止め (☐ 無 ☐ 有、踏面と同一面)				
		段鼻	・ 段鼻の出 (☐ 有 ☐ 無)				
		階 段 の 幅 員	☐ 必要な階段幅員の確保				
	手 摺	手 摺 の 設 置	☐ 階段 ☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 玄関 (☐ 設置準備) ☐ 脱衣室 (☐ 設置準備)	☐ 平面図 ☐			
		転落防止手摺の設置	☐ バルコニー (☐ 手すりの設置 ☐ 転落のおそれなし) ☐ 窓 (2階以上) (☐ 手すりの設置 ☐ 転落のおそれなし) ☐ 廊下及び階段 (☐ 開放なし ☐ 手すりの設置 ☐ 転落のおそれなし)				
	通路等の幅員	通路の幅員	☐ 通路幅員の基準に適合	☐ 平面図 ☐			
		出入口の幅員 (日常生活空間内)	☐ 玄関・浴室出入口の幅員の基準に適合 ☐ 玄関・浴室以外出入口の幅員の基準に適合 (☐ 工事を伴わない撤去等 ☐ 軽微な改造)				
	寝室、便所及び浴室 (日常生活空間内)	浴室の寸法	☐ 内法面積、短辺寸法の基準に適合	☐ 平面図 ☐			
便所の寸法等		☐ 内法寸法の基準に適合 ☐ 便器と壁の距離の基準に適合 ☐ ドアの開放により確保 ☐ 軽微な改造により確保 ☐ 工事を伴わない撤去等により確保 ☐ 腰掛け式便器を設置					
		特定寝室面積	☐ 特定寝室の内法面積の確保				

※9-1は選択項目となる。

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ

性能表示事項	自己評価結果	評価方法※1	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄	
				項目	設計内容	記載図書		
9 高齢者等への配慮 ☐ 該当なし	9-2 高齢者等配慮対策等級 (共用部分)	等級 ☐ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	共用廊下	幅員 ・有効幅員 (mm)	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 矩計図		
				歩行補助手すり ・床面からの高さ	☐ 片面設置 ☐ 無	☐		
				外部開放廊下の転落防止用手すり ・転落防止措置の床からの高さ (mm) ・手摺の内法寸法 ☐ 手すりかべ ☐ さく ☐ 金網 ・手摺の内法寸法 ☐ 110mm以下	☐	☐		
				床の段差 ☐ 段差なし ・高低差 ☐ 無 ☐ 有 (mm) ・高低差が生じる場合の構造 勾配 (mm) ☐ 傾斜路(勾配1/12以下)と段の併設 ☐ 傾斜路(勾配1/15以下)の設置 ☐ 傾斜路(勾配1/8以下)の設置(高低差80mm以下のみ) ・傾斜路の構造 手摺 (☐ 両側設置 ☐ 片側設置 ☐ 無 手摺の床からの高さ (mm) 有効幅員 (mm) ・段の構造 共用階段(等級 ☐ の規定適用)	☐	☐		
				共用階段	幅員 ・有効幅員 (mm)	☐ 仕様書 ☐ 平面図		
				勾配等 ・けあげ (mm) ・踏面 (mm) ・勾配 (/)	☐	☐		
				蹴込み ・蹴込み寸法 (mm) ・蹴込み板の有無 ☐ 無 ☐ 有	☐	☐		
				形式等 ・階段の形式 ☐ 踊り場付折れ階段 ☐ 直階段 ☐ その他 ・最上段の通路等への食い込み ☐ 無 ☐ 有 ・最下段の通路等への突出 ☐ 無 ☐ 有	☐	☐		
				昇降補助手摺 ・両側設置 ☐ 片側設置 ☐ 無 ・段鼻からの高さ (mm)	☐	☐		
				滑り防止 ・滑り止め ☐ 有 ☐ 無(踏面と同一面)	☐	☐		
段鼻 ・段鼻の出 ☐ 有 ☐ 無	☐	☐						
転落防止用手すり (外部開放階段) ・腰壁の高さ (mm) ・手摺の高さ ☐ 踏面より ☐ 腰壁より (mm) ・手摺の内法寸法 ☐ 110mm以下	☐	☐						
手すり ☐ 無 ☐ 有 踏面の先端からの高さ (mm)	☐	☐						
エレベーター				利用方法 ・住戸位置 ☐ 無 ☐ 有 ・エレベーター設置 ☐ 無 ☐ 有	☐ 仕様書 ☐ 平面図			
				仕様 ・出入口の有効幅員 (mm) ・かごの奥行き寸法 (mm)	☐			
				ホールの広さ ・エレベーターホールの寸法 (mm × mm)	☐			

※9-2は選択項目となる。

【住宅の出入りが、接地階の住戸】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ							
10-1 開口部の 侵入防止対策	設計 内容 説明 欄と 同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	1 階	区分及び措置	・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	☐ 平面図 ☐ 立面図
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	
					・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	
			2 階	区分及び措置	・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	
					・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	
			3 階	区分及び措置	・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	
					・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	

【住宅の出入りが、接地階以外の住戸】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ								
10-1 開口部の 侵入防止対策	設計 内容 説明 欄と 同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証		階	区分及び措置	・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	☐ 平面図 ☐ 立面図
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ (i) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ (ii) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ (i) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ (ii) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ								
10-1 開口部の 侵入防止対策	設計 内容 説明 欄と 同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証		階	区分及び措置	・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	☐ 平面図 ☐ 立面図
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ (i) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ (ii) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ (i) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ (ii) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		